

		07	20107	上肢 肩峰鎖骨部および胸骨鎖骨部	
		08	20108	胸郭 肋骨肋軟骨部, 肋骨椎骨部, 胸骨肋軟骨部 腋下	
		09	20109	腹部(胃、大腸、肝含む)	
		90	20190	多発または全身	
		99	20199	不明	
202	部位2	00	20200	食道	名称は、該当の ICD 部位に準拠。 部位の順序は、ICD 消化器系疾患(K)の発生順。
		01	20201	十二指腸	
		02	20202	腸管(空腸、回腸、多発性含む)	
		03	20203	肛門	
		04	20204	肝臓	
		05	20205	胆嚢・胆管	
		06	20206	膵臓	
		07	20207	脾臓	
		21	20221	胃	
		99	20299	不明	
203	部位3	00	20300	中耳	
		01	20301	扁桃	
		02	20302	中咽頭	
		03	20303	鼻(上)咽頭	
		04	20304	梨状陥ぼつ(洞)	
		05	20305	下咽頭	
		99	20399	不明	
204	部位4	00	20400	心外膜	
		01	20401	副腎	
		02	20402	精嚢	
		03	20403	前立腺	
		04	20404	精管	
		05	20405	腹膜	
		06	20406	後腹膜	
		90	20490	その他	
		99	20499	不明	
301	病勢1	00	30100	慢性	
		01	30101	急性	
		02	30102	慢性の急性増悪	
		09	30109	不明(急性、慢性の明示なし)	

(43) 外傷の受傷機転

外傷の受傷機転について、鈍的外傷の場合は"1"を、鋭的外傷の場合は"2"を、不明の場合は"3"を入力する。

(44) 入院時Glasgow Coma Scale

開眼 (E) の値を百の桁、発語 (V) の値を十の桁、運動機能 (M) の値を一の桁とする3桁の数値を記入する。

(例) 開眼 (E) = 2、発語 (V) = 3、運動機能 (M) = 3の場合、"233"を記入する。

開眼 (E)	発語 (V)	運動機能 (M)
4 = 自発的に	5 = 見当識良好	6 = 命令に従う
3 = 音声により	4 = 混乱した会話	5 = 疼痛部を認識
2 = 疼痛により	3 = 混乱した言語	4 = 四肢屈曲(逃避)
1 = 開眼せず	2 = 意味不明の声	3 = 四肢屈曲 (異常)
	1 = 発語せず	2 = 四肢伸展
		1 = 全く動かない

(45) 入院時収縮期血圧

入院時の収縮期血圧を単位 mmHgにて記載する。

(46) 入院時呼吸回数

入院時の呼吸回数を単位 回/分にて記載する。

(47)~(52) A I S 入力要領

入力する数値はA I Sコードではなく、A I Sスコアである。記述病名に対応するA I Sコードのうち、小数点一位に